

The Japan Association of Radiological Technologists
ネットワーク・ノウ

Network Now

2019 No.519
3 / 1

JART情報
<http://www.jart.jp>

発行所 公益社団法人日本診療放射線技師会
〒105-6131 東京都港区浜松町2-4-1
世界貿易センタービル31階
TEL. 03-5405-3612 FAX. 03-5405-3613



2018年度 マネジメント研修会 開催される



2019年1月26日(土)・27日(日)の2日間、ホテルフクラシア大阪ベイ(旧大阪ホテルコスモスクエア)で本会主催のマネジメント研修会が開催された。

本研修会は、マネジャーおよびマネジャーを目指す会員が全国から参加し、合宿形式で行う研修会である。

本研修会の目的は、医療経営の効率化に参画できる診療放射線技師の養成、人材育成の課題・問題点などを模索していく上で、指導的役割を担う診療放射線技師の育成を目指すとともに、同じ目的を持った受講者同志のネットワークづくりの場を提供することである。

本年度も昨年度同様に、ミドルマネジャーを対象とした日帰りコースとトップマネジャー対象の宿泊コースを選択可能にした。今回の参加者は33人(宿泊コース23人・日帰りコース10人)であった。本研修会は開始より8年が経過しており、ここ最近ではマネジメントに興味のある各都道府県の医療施設からのリピーターが多かった。しかし、本年度は初参加の会員が多く見られ、マネジメントについて関心が高まってきたかと思われる。今後、本研修会のさらなる継続と内容の充実が重要と考える。

初日は、業務管理や医療経営のノウハウを基に、今後の課題や方向性に関する内容が中心となった。基調講演では、中

澤会長より「日本診療放射線技師会の今後の政策と課題」と題して、現在の活動と今後の課題など詳細にご講演いただいた。教育講演①では、上尾中央医科グループ 田中武志氏より「診療放射線技師に必要な採算分岐と財務知識」と題して、トップマネジャーとして不可欠である財務知識を分かりやすくご説明いただいた。次に特別講演①では、日本画像医療システム工業会(JIRA) 鍵谷昭典氏より「2018年度診療報酬改定の総括と今後の方向性」と題して、今後の医療体制の変化に伴う診療報酬の課題などを詳細にご説明いただいた。またワークショップでは、「実践SWOT分析 放射線部門の現状と今後の課題」をテーマに、各医療施設での各職場における問題や課題について議論が交わされた。恒例のナイトセミナーでは、参加者同士だけではなく、中澤会長をはじめ講師の先生方にもアドバイザーとしてご参加いただき、活発な討論が繰り広げられた。さまざまな立場や状況で、各医療施設



特別講演① 鍵谷昭典氏



教育講演① 田中武志氏



基調講演 中澤靖夫会長



ワークショップ

ナイトセミナー

における職場環境や日々発生する問題に対し、フリートークで語られた。特に、人材育成に関しては各施設で苦悩していることもあり、熱い議論が繰り広げられ、気が付けば例年通り翌日を迎えていた。

2日目は、教育講演②に大阪府診療放射線技師会 田中貴志会長より「組織構築への挑戦」と題して、自施設での経験を含めて詳細にご説明いただいた。次に特別講演②では、聖隷福祉事業団法人本部 日下部行宏氏より「病院経営支援を通して見えてきた病院経営改善への焦点」と題して、病院経営を

ポイント別に分かりやすく詳細にご説明いただいた。そして研修の総まとめである総合討論では、講師の先生方を交えた皆さんの意見交換がなされ、盛会のうちに本年度のマネジメント研修会の幕を閉じた。

最後に、講師の皆さま、参加された皆さま、そして関係者の皆さまに感謝致します。

(人材育成委員会マネジメント研修班 委員長 佐野幹夫)



特別講演② 日下部行宏氏



教育講演② 田中貴志会長



修了証書を手に記念撮影

「メディカルスタッフのための多職種連携プログラム」 において中澤会長講演される

2019年2月3日(日) 午後1時から5時まで、つくば国際会議場で行われた文部科学省「課題解決型高度医療人材養成プログラム」採択事業である、多職種連携医療専門職養成プログラムの公開講座「メディカルスタッフのための多職種連携プログラム」において、中澤会長が「専門職の立場から多職種連携を展望する」というテーマで特別講演を行った。

初めに、昭和大学在宅チーム医療教育推進室長 加藤裕久先生から「在宅において多職種連携・協同を実践できる医療人養成のための学部連携教育プログラムの開発と実践」と題して教育講演が行われ、続いて日本臨床衛生検査技師会 宮島喜文会長、日本診療放射線技師会 中澤会長、日本理学療法士協会 半田一登会長の順で特別講演が行われ、会場からの質疑にも対応された。



2018年度 第2回 JART-JIRA 定期懇談会 開催される

2019年1月29日(火) 午後4時より、本年度2回目のJIRA(一般社団法人日本画像医療システム工業会)との定期懇談会がJIRA第4会議室で行われた。

本会からは中澤靖夫会長、佐野幹夫副会長、熊代正行副会長、小田正記理事、江田哲男理事、上島 隆事務局長の6人が、JIRAからは新延晶雄会長、稲葉 潔業務執行理事、浜原公幸法規・安全部会長、鍵谷昭典経済部会長、森 雅嗣事務局長、横田則昭総務部長の6人が出席し行われた。

本会からは①第34回・第35回日本診療放射線技師学術大

会について②医療放射線の適正管理に関する検討会に関して③医療機器の保守点検指針に関する研究について——の報告をした。

JIRAからは①最近のJIRAの活動状況②2019年度JIRA事業計画③経済部会報告(経済部会におけるトピックス紹介)④法規・安全部会報告(最近の医療機器規制の動向について)——の説明があった。

2019年度第1回の開催は、本年7月に本会事務所で開催予定である。

2018年度 第2回 超音波実技講習会「腹部領域」 開催される

2019年1月27日(日)、本会講義室で2018年度第2回超音波実技講習会「腹部領域」が開催された。

本講習会は「今から始める超音波検査」と題して、超音波検査未経験、または再履修を希望するミドルシニア・シニア会員を対象に、超音波検査をセカンドキャリアとして活用していただくことを目的として開催している。

本講習会は、座学部分については事前にDVDを視聴していただき、当日は十分な時間をかけて実技指導のみを行う構成としている。そのため基礎を身に付けていただけるよう、定員30人の少人数制とし、超音波装置5台を用意して1班当たり5~6人の受講者で集中的に指導が行われる。なお、今回は受講者23人、1班4~5人で行われた。

腹部領域は「肝」「胆・胆道」「脾・脾臓」「腎・膀胱・婦人科領域」「腹部大動脈・消化管」の5領域に分けて実技を行う。プローブの持ち方や動かし方、対象臓器ごとの基本走査法やコツ、走査上の注意点やピットホールなどについて、超音波検査のエキスパートである講師から受講者一人一人が



丁寧に指導を受ける。未経験者や初心者にとって、超音波検査の習得は座学だけでは難しいため、実技を集中的に行う本講習会は大変有意義であり、今回も受講者が熱心に受講されていたことが印象的であった。

日本診療放射線技師会のシニア向け超音波実技講習会は、講習会で得た知識と走査技術を臨床業務に生かしていただくとともに、将来の就労のためのキャリアアップや在宅医療をはじめ、大規模災害における診療放射線技師による支援を、超音波検査で実現していただく期待も込められている。本事業がますます発展し、一人でも多くの会員が超音波検査に携わっていただくことを願う。

最後に、本講習会開催に当たり、講師を務めていただいた会員の皆さま、超音波装置をご提供いただいた株式会社日立製作所、コニカミノルタ株式会社、キヤノンメディカルシステムズ株式会社のスタッフの皆さま、日本診療放射線技師会関係各位に感謝を申し上げます。

(本会理事 江藤芳浩)



本会への入会手続きについて(お知らせ)

ホームページからでも、書類でも・・・本会への入会は、次のいずれかの方法によりお手続きいただけます。

- 1 本会ホームページ (<http://www.jart.jp>) から“新規入会はこちらから”をクリック
- 2 書類のご提出

書類のご提出によるお手続きの場合は「申込書」を本会事務局までご請求ください。

TEL : 03-5405-3612 E-mail : info@jart.or.jp

ぜひ周りの非会員の方に、お知らせください。

INFORMATION

診療放射線技師基礎講習 医療基礎コース 「救急医療学」実習 開催される

2018年12月2日(日)、本会会議室で標記セミナーが開催された。アドバンス診療放射線技師格取得に必須な科目であると同時に、医療従事者として公共の場でも実践できる技術の習得に役立つ講習会である。

講師は日本救急医学会 ICLS 認定インストラクターの資格を有しており、胸骨圧迫、気道確保・換気、AEDの実習指導を行った。

業務拡大に伴う統一講習会にも一次救命処置の項目が含まれているが、本講習会では、それに加え呼吸管理実技や一次



救命、救急医療の歴史・問題点を学ぶことができ、非常に有意義な講習会である。

受講者アンケートでは、全ての参加者が「参加して良かった」「今後は心肺蘇生時に落ち着いて対処できそう」と回答しており、本セミナーの満足度が高いことがうかがえる。また受講者の約6割が業務拡大に伴う統一講習会を受講済みであり、スキルアップの良い機会となったと考える。

2019年度は、東京開催だけでなく、さまざまな地域での開催も視野に入れていきたい。



診療放射線技師基礎講習 医療基礎コース 「看護学」実習 開催される(京都府・群馬県)

2018年11月17日(土)、京都府立医科大学医学部看護学舎1階大講義室・実習室で「看護学」実習が開催された。参加者は関東地方や北陸地方、南は九州と遠方の方もおられ、当日は42人であった。2年前にも同施設で開催され、その



時は座学も含めた2日間の講習であった。今回、座学はeラーニングとなり、実習のみの1日間となった。

京都府立医科大学医学部看護学科の先生に講師をお願いし
①感染予防・手洗い ②身体の移動(車いす・ストレッチャー



の位置移動) ③身体の移動(横移動・起き上がりの体位変換)——について、コミュニケーションや患者観察を含めた実習を行っていただいた。各実習の前には講義を行い、前勉強してからいくつかのグループに分かれて実習を行った。

車いすやストレッチャーに乗っての移動、ベッドや検査台



への移動、ベッド上の移動や起き上がりなど、患者役を交代しながら行っていくなど、患者感覚を考慮したものであり、現場で役に立つ知識および技術を身に付けることができたのではないかと思います。

また感染予防やコミュニケーション技術の講義なども行われ、「実習のみ」となっているが内容は充実しており、日常、現場で活用できる有意義なものであった。

講習の最後には受講修了証が渡され終了となった。京都府放射線技師会では「看護学」を2年ごとに開催していく予定であり、今後もより多くの会員の参加を期待し準備していきたいと思う。

最後に、本会の事業にご理解いただき、ご支援、ご協力いただいた京都府立医科大学医学部看護学科の先生方に感謝を申し上げる。

(公益社団法人京都府放射線技師会・

関西医科大学香里病院放射線部 原口隆志)

2019年1月27日(日)、群馬県立県民健康科学大学の多目的ホールおよび第1看護実習室で医療基礎コース「看護学」実習が開催された。医療基礎コース「看護学」の座学講習はe-ラーニングとなっているため、実習のみの開催であった。インフルエンザの大流行や開催当日の積雪などの影響で、残念ながら7人の欠席があったが、全国から31人の参加があり、午前9時からの実習に臨んだ。

開講式では、一般社団法人群馬県診療放射線技師会 後閑隆之会長からあいさつがあり、卒後教育の重要性などについて話された。その後、群馬県立県民健康科学大学看護学部 佐藤正樹講師による全体授業が始まった。実習指導は佐藤先生の他、同大学看護学部の戸谷幸佳講師、高橋美穂子助教、大澤康子助手の3人の講師陣が行った。大学で教育に携わっているだけあり、授業や実習がとても分かりやすく、かつスムーズに進行していた。実習は項目ごとに2人から5人程度のグループに分かれて行われた。感染予防対策では、普段行っ



ている手洗いと衛生的手指衛生の相違について学んだほか、マスクやガウンなどの个人防护具の着脱時の注意点などについて実習を行った。さらに腰痛防止のために必要なボディメカニクスを学び、受講生らが体位変換を体験した。午後からは、車いすやストレッチャーの基本的な仕組みや操作の注意点などについて全体授業を行った後、グループごとにベッドから車いす、またはストレッチャーへの移乗・移動を行った。受講生からは「楽しく学べた」「充実した時間だった」との感想を多く頂いた。閉講式で、受講生の皆さまに修了証をお渡しし終了した。

最後に、本会事業にご理解いただき、ご支援、ご協力いただいた群馬県立県民健康科学大学看護学部 佐藤正樹講師、戸谷幸佳講師、高橋美穂子助教、大澤康子助手に感謝申し上げます。

(一般社団法人群馬県診療放射線技師会・

群馬県立県民健康科学大学診療放射線学部 五十嵐 博)



2018年度 第2回 Ai認定講習会 開催される

2019年1月26日(土)・27日(日)の2日間、さいたま赤十字病院で第2回Ai認定講習会が開催された。この講習会は、Ai(死亡時画像診断)を適切に活用するための基礎知識・技能の普及を目的に、2011年(平成23年)より行われている。内容は、Aiに特化した放射線技術の専門分野だけでなく、Aiに関連する病理学・法医学・看護学の分野についても広く学べるようになっている。またAi認定診療放射線技師の資格を取得するための指定講習会でもある。

今回はインフルエンザの大流行とも重なり、急きょ欠席を余儀なくされた方もおられたが、当日は全国より75人の受講者が集い、初日は8科目、2日目は4科目の講義を受講し、最後に確認試験を行い全員が受講修了証を手にした。ぜひともAi認定診療放射線技師の申請手続きを行っていただき、各施設での適切なAi運用を実践していただきたい。

Ai分科会では来年度もAi認定講習会を2回開催する予定



であり、詳細が決まり次第、皆さまにお知らせする。また本年度初開催され大好評であったAi症例報告会も開催の予定である。Ai認定診療放射線技師のスキルアップにつながるイベントとして、共に多くの方にご参加いただきたい。

(Ai分科会 会長 樋口清孝)

2018年度 第2回 認定資格試験 実施される

2019年1月27日(日)に、本会が主催する2018年度第2回認定資格試験が全国2会場で同時に実施された。東日本会場は帝京平成大学中野キャンパス、西日本会場はAP大阪梅田茶屋町で行われた。

本会では、現在5つの資格について認定している。これら認定資格は、それぞれの専門知識や技能に必要な教育を受け、本会が実施する認定試験に合格し、その能力が認められた者に与えられる資格である。これら認定資格は、医療技術の進歩に伴い最新の知識や技能を身に付ける必要があるため、5年ごとの更新制度を採用している。

今回の受験申込者数は両会場合わせて次の通り。第36回放射線管理士認定試験160人、第38回放射線機器管理士認定試験161人、第15回医療画像情報精度管理士認定試験71人、第25回臨床実習指導教員認定試験71人、第9回放射線被ばく相談員認定試験27人の計490人。なお、合格発表は2019年3月中旬を予定している。

2019年度第1回認定資格試験は2019年8月25日(日)に予定している。毎回、第1回認定資格試験の際には国際認定も同時に実施しており、X線CT国際認定試験、超音波(腹部)国際認定試験、核医学国際認定試験も実施される予定である。

65歳以上の方の会費が8,000円になります!

第79回定時総会において「会費等納入規程」の改正があり、2019年度中に65歳を迎える会員、および65歳以上の会員の方の年会費が8,000円となります。次年度の会費請求から実施することになりましたので、お知らせ致します。

それに伴い、会費の終身免除(会費等納入規程第8条)は、5年間の猶予をもって2023年3月末日で終了致します。

なお、50年勤続表彰受賞者で35年以上継続している会員の方の年会費終身免除は、これまで通りです。

※会費の終身免除

第8条 25年または30年勤続表彰受賞者で25年以上継続して会員であり55歳以上の会員は、100,000円を本会に納付し、その旨を申請することにより、翌年度以降の会費は終身にわたって免除される。

INFORMATION

放射線管理地域講習会 開催報告

2019年1月27日(日)、名古屋掖済会病院で放射線管理地域講習会が開催された。地域講習会は初めての試みであったが、全国から35人の参加があった。

前回、東京で行われた講習会では7人の講師で1科目当たりの時間が限られ、十分な講義ができなかったのではという反省があり、今回は講師を5人に絞り1人当たり1時間の枠で行った。ただし、緊急被ばく医療の講義については90分とした。講師の5人は放射線管理士であり、それぞれの分野で活躍されている方々である。

午前中は、緊急時と平常時の放射線に関する健康相談について、日本放射線カウンセリング学会の村井 均、三樹陽子両講師が講義を行った。さまざまな資料を基に、基本的な考え方や対応など、実例を踏まえて分かりやすく解説を行った。午後は、日本放射線公衆安全学会から佐藤寛之、諸澄邦彦両氏が講義を行った。それぞれ「医療被ばくの低減」「医療施

設等における人に関する放射線管理」について講義を行った。今回「医療法施行規則の一部を改正する省令案」についての解説も行った。最後は「緊急被ばく医療 基礎および実践」について、吉田篤史氏が講義を行った。原子力事故の歴史から現在の緊急被ばく医療体制、検査や除染に至るまで幅広く解説をした。

今回、e-ラーニングを担当している講師が、さらに踏み込んだ内容で講義を行った。講義の合間には、認定更新についての質問や資格取得に向けての学習の仕方などについて質問があった。認定資格制度が始まった当初に比べると資格習得環境は整備され、コンテンツは24時間視聴可能となっている。更新についてもハードルは低いと考えている。

今後も、さまざまな視点から情報提供を行える体制を整えたいと考えている。開催に当たりご協力いただいた方々に感謝申し上げる。
(放射線管理士分科会 南保 修)

分岐点

2019年5月には、30年在位された天皇陛下が退位され、皇太子殿下が新天皇に即位され、新しい元号へと移行する年である。亥年生まれの私も人生の分岐点に立っている。ふと昔受けた研修を思い出し、資料を出してみた。

「分岐点」という研修で、狙いは「今の自分を見つめながら今後の生き方を創造するきっかけをつかむ」であった。まさにぴったりであったので一人研修をすることにした。

「私の年表」 今日までどのように生きてきたかを振り返りながら、自分に影響を与えた人を明確にしてみる。

「私の好きなこと」 自分の好きなことを明確にしてみる。

「私の得になること」 自分の得になることを明確にしてみる。

「私の存在」 自分の存在する意味を明確にしてみる。

「私のやりたいこと」 これからの自分のやりたいことを明確にしてみる。

「私との約束」 これからの自分のやりたいことに向かって、どのように生きていくかを考えてみる。

ここでペンが止まっていると、こんなニュースが飛び込んできた。

南米大陸最高峰アコンカグア(標高6,961メートル)の登頂



とスキー滑降を目指していたプロスキーヤー三浦雄一郎さん(86)が、同行する医師のドクターストップを受け入れ、登頂を断念し下山した。

三浦さんは「僕自身、頂上まで行ける、という自信はありましたけど、やはり周りで見ている状況、特に、大城医師の判断ということで従うことに致しました」とコメントしていた。私はまた昔の資料の中からこんな文章を見つけた。『誰にでも失敗は付きものだし、うまくいかないこともあります。どんなに入念に準備しても予定は狂うしけがはするし、限界まで追い詰められるなんてしょっちゅうです。でも、そうしながらも絶対に掲げた旗印、夢は諦めないでほしい。夢に向かう道というのはさまざまな方向に伸びていて、正しいと信じてやって壁に突き当たったとしても方向転換すればいい。出口の方向には必ず光があるから、一度原点に戻って光のある方へ進んでいくのです。夢を諦めることこそが、人間にとって最も無理をしている状態なのです。焦らない、無理しない、頑張り過ぎない。人間は幾つになっても可能性がある。諦めるのは最後でいい。できない言い訳を考えるより、できることを考える。』(三浦雄一郎談)

これを読んで気持ちが楽になり、再びペンが動き出した。

(文責：山本英雄)

INFORMATION

第6回 第35回 日本診療放射線技師学術大会

埼玉への道

埼玉県診療放射線技師会
編集情報委員会より

埼玉の酒・うどん県2位の埼玉

埼玉のお酒といわれて、何かイメージするものはありますか？
ぴんとくるものは少ないかもしれませんが、日本酒・ウイスキー・ビールなど、埼玉産のお酒は意外と多く、世界一になるほどの有名なお酒もあります。

地ビールでいえば、大会会場である大宮（さいたま市）でも造られています。「氷川ブリュワリー」は、氷川神社の参道へ向かう途中のお店（氷川の杜）でいただくことができます。他には、コエドビール（川越市）、こぶし花ビール（羽生市）、戸田自麦酒（戸田市）、野老ゴールデン（所沢市）、そして“やきとん”に合うビールなど、数多くあります。



次に日本酒です。埼玉の日本酒生産はとても盛んです。県内には35の蔵元があり、清酒出荷量は全国5位です(2016年度統計)。「天覧山」「鏡山」「秩父錦」などの有名な銘柄のお酒から、蔵元の協力の下、地元の米で造られる地酒もあり（「ゆめところ」など）、量・種類とも豊富にあります。



そしてウイスキー「イチローズモルト」は、世界的にも注目されています。蒸留所（秩父市）の設立は2007年と歴史は浅いですが、秩父の自然の中で造られたウイスキーは世界最高峰と評されています。ワールド・ウイスキー・アワードでは、2017年・2018年で世界一に輝いています。ご興味のある方は、ぜひ手に入れてみてはいかがでしょうか。



うどんは、埼玉食文化の一つであり、生産量は香川県に次いで全国2位です。またうどん・そばの店の数も全国2位です（2009年調べ）。埼玉の地域は江戸の頃から小麦の栽培が盛んであり、うどん文化が定着しています。讃岐・稲庭・水沢うどんのような、全国でも知られているブランドうどんにはかないませんが、代表的なものに東京の多摩地域と埼玉西部の「武蔵野うどん」があります。うどんの食感・コシはかなり強く、つるりとしたのど越しが「ない」のも特徴です。主につけ汁につけて食べる「肉汁うどん」が主流ですが、県内には多くの武蔵野うどんのお店があり、豊富なメニューが店ごとで楽しめます。また昔ながらの伝統的なうどんとして、加須市の「加須うどん」、群馬県・埼玉北部・秩父地方の「おっきりこみ」があるほか、定番の山田うどん（第3回『埼玉への道』〔2018年12月号〕参照）、グルメイベントで出展される新定番うどん（川幅うどん、深谷煮ほうとうなど）と数多くあります。そのような背景もあり、全国各地のご当地うどんが出展される“うどんサミット”は、昨年まで3年連続で埼玉県熊谷市で開催されました。

大会参加で大宮にいらした際は、埼玉の知られざる名物“うどん”と“お酒”を楽しんでみてはいかがでしょうか？





第35回 The 35th
Japan Conference of Radiological Technologists(JCRT)

日本診療放射線技師学術大会

国民と共にチーム医療を推進しよう

Let's promote team medical care with the nation

彩の国から未来へ

From Sainokuni to the future

会期
Date

2019年9月14日(土)~16日(月・祝)
September 14(Sat) -16(Mon) , 2019

会場
Venue

大宮ソニックシティ
Omiya Sonic City

会長
President

中澤 靖夫 (公益社団法人 日本診療放射線技師会 会長)
Yasuo Nakazawa (Japan Association of Radiological Technologists)

大会長
Chairman

田中 宏 (公益社団法人 埼玉県診療放射線技師会 会長)
Hiroshi Tanaka (Saitama Association of Radiological Technologists)

主催
Host

公益社団法人日本診療放射線技師会
Japan Association of Radiological Technologists

共催
Cosponsor

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会
Saitama Association of Radiological Technologists

後援
Support

厚生労働省(予定)
Ministry of Health, Labour and Welfare
埼玉県(予定)
Saitama Prefecture
さいたま市教育委員会(予定)
Saitama City Board of Education

運営事務局
Congress Secretariat

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会 埼玉県さいたま市北区宮原町2丁目51番39
TEL:048-664-2728 対応時間平日(月~金曜日) 9:00~15:00
Saitama Association of Radiological Technologists Saitama Prefecture Saitama City Kitaku Miyaharacho 2-51-39
Phone:+81-48-664-2728 Correspondence time Weekday (Monday - Friday) 9:00~15:00

本会の動き

技師法改正検討委員会より

技師法改正検討委員会は、日本診療放射線技師会の特別委員会として2012年に設置されました。診療放射線技師の業務に放射線の照射等に関連する行為（検査関連行為）が2015年4月1日に追加され、昨今の医療における診療放射線技師の役割は大きくなっています。国民に安全・安心な放射線診療を提供するためには、さらなる診療放射線技師法の改正が必要不可欠です。技師法改正検討委員会は、西山篤委員長をはじめ6人の委員で構成され、将来の診療放射線技師のあるべき姿を考え、診療放射線技師法にどのような業務を追加したらよいか、問題点をどのように変更するべきか議論を重ね、診療放射線技師法改正の答申案を取りまとめ、理事会に答申しました。会員の皆さまへは、パブリックコメントを通じて周知および意見募集を行い、理事会および会員からの意見を参考に診療放射線技師法改

正案の第三次答申を取りまとめました。

第三次答申では、第二条第二項の業務に放射線関連機器の保守管理および放射線診療における品質管理ならびに放射線被ばく管理を追加すること、さらに疑義照会の追加、従事している診療放射線技師の氏名や住所の定期的な届け出、医道審議会の設置、免許の取り消しおよび業務の停止の追加、照射録の変更、検査録の新設などについて答申しています。この診療放射線技師法改正案を基に、今後とも診療放射線技師の専門性の活用がさらに拡大するよう、会員をはじめ関係各位のご理解を頂きながら国会議員、厚生労働省、文部科学省に対して、診療放射線技師法改正に向けた活動を日本診療放射線技師会は展開していく予定です。

テレビドラマ『ラジエーションハウス』 キャストや放送時間が決定!

2019年2月14日(木)、テレビドラマ化が決定した『ラジエーションハウス』の新情報が公開された。主人公の診療放射線技師を演じるのは、俳優の窪田正孝さん、ヒロインの放射線科医を演じるのは、女優の本田翼さんである。本作は漫画雑誌グランドジャンプ（集英社）で連載中であり、診療放射線技師と放射線科医に焦点を当てた作品である。4月スタートの放送はフジテレビで月曜日午後9時から。平成最後の「月9」ドラマに診療放射線技師が主人公となった本作が取り上げられたため、ぜひとも放送を期待したい。

INFORMATION

ホームページ閲覧のお願い

「業務拡大に伴う統一講習会」および「診療放射線技師基礎技術講習」の開催日程につきましては、ホームページで随時更新しておりますので、そちらをご参照ください。

- 「業務拡大に伴う統一講習会」開催日程：www.jart.jp/activity/lifelong_study/schedule.html
- 「診療放射線技師基礎技術講習」開催日程：www.jart.jp/activity/lifelong_study/ib0rgt0000004api.html

INFORMATION

JART求人広告掲載について

会誌に掲載する診療放射線技師募集の求人広告を随時受け付けております。申込書ならびに募集要項につきましては、本会ホームページ（各種様式→その他）よりダウンロードしてご確認ください。

なお、掲載月の前月5日が掲載申し込みの締め切りとなっております。

INFORMATION

事務所
案内

執務時間：月曜日から金曜日の午前9時30分より午後5時30分まで。

ただし、土曜、日曜、休日、祝日、創立記念日（7月13日）および年末年始（12月29日～1月3日）は執務致しません。